



令和元年 9 月 5 日

令和元年度第3回「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を開催

(一社) 日本物流団体連合会 (会長: 渡邊健二) は、9 月 3 日 (火)、今年度第三回目となる「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を千代田区霞が関の尚友会館ビルで開催した。これは、物流事業の海外進出に関する課題について官民連携して検討する会合で、国土交通省の宮島正悟参事官 (国際物流) を始めとする幹部や会員企業から 27 人が参加した。

会合では、まず、株式会社インフォブリッジマーケティング&プロモーションズ 石田悦子氏より「インドのコールドチェーン市場概況」と題し、同国のコールドチェーン市場、コールドチェーン業界とその変遷、コールドチェーンの新たな取組みなどの講演が行われた。インドでは経済発展による内需の拡大、働く女性の増加に伴う加工食品需要の高まり、食生活・購買行動の変化等の理由により、5 年間でコールドチェーン市場規模の倍増が見込まれ、インド政府も各種税制優遇等の措置により外部からの投資を呼び込もうとしているなど、直近の状況が解説された。

続いて、国土交通省 宮島参事官 (国際物流) より、最近の国土交通省の国際物流政策の取組として、タイにおける物流政策対話とコールドチェーン物流ワークショップの開催概要、シベリア鉄道利用促進に関する取組、国際物流政策に関する今後のスケジュール等について説明が行われた。

次に、今年度の海外物流事情実態調査対象国であるインドについて、本ワーキングチームのメンバーである鴻池運輸株式会社 田邊嗣朗課長より、8 年間のインド勤務経験から感じた同国でのビジネスの難しさについて、実感を交えての報告があった。

最後に、事務局より、今年度インドで実施する物流事情実態調査概要についての報告が行われた。

本ワーキングチームの活動は、今年度も物流連の重要な業務と位置づけ、適宜、現地情報や実務に詳しい会員企業や外部専門家の参加を得ながら進めることとし、次回は、10 月の開催を予定している。

以上

事務局 中川

会合全景



講演するインフォブリッジ 石田悦子氏



説明する国土交通省 宮島正悟参事官（国際物流）



報告する鴻池運輸 田邊嗣朗課長

